



2 なりわい再建

2-1 農林水産業 (6ページ)

(1) 農業

- ・ 奥能登地域では、令和7年作付けまでに農地約170haを復旧し営農を再開、令和8年作付けに向けて農地約200haを復旧し、令和8年は約2,200haの水田で作付け見込み。
- 引き続き、国、県、市町及びJAが一体となって、円滑な復旧工事の実施に向けて地元との調整を進める。

(2) 林業

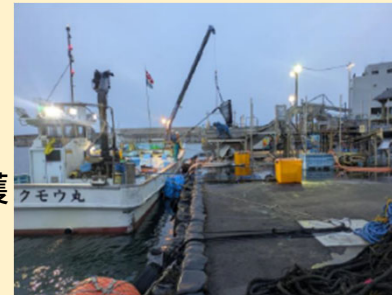
- ・ 復旧支援により、製材工場等53施設で営業再開。
- 再開を望む6施設について、引き続き復旧・整備への支援を実施。
- ・ 特に被害が甚大な山腹崩壊(10箇所)において国直轄による復旧事業を実施し、うち9箇所事業完了。
- 被災した林道施設等も含め、順次、本復旧工事に着手。



復旧した山腹崩壊現場

(3) 水産業

- ・ 施設の復旧に応じて、刺し網漁、底びき網漁(ずわいがに漁を含む)等が再開し、令和8年4月末より輪島港での海女によるわかめ漁が再開したことで、石川県の北部6市町におけるすべての漁業種類の操業が再開。漁獲も順調に回復。
- 引き続き、漁港や共同利用施設の復旧等を進め、被災地の漁獲の回復に取り組む。



定置網漁の水揚げ

2-2 中小企業向け支援 (7ページ)

- ・ なりわい補助金の申請受付とあわせて、延べ71回の説明会(延べ約6,500人参加)。
- ・ 輪島塗の仮設工房は、希望する全ての職人が入居可能。
- ・ 仮設商店街等も概ね整備を完了。追加要望に対応中。
- ・ 令和6年9月の豪雨災害の際には、「能登半島地震と同水準の支援」を直ちに措置。
- 【支援実績】 -なりわい補助金：2,190件交付決定
- 小規模事業者持続化補助金：3,616件採択
- 仮設工房：85室整備完了、伝産支援補助金：345件採択
- 商店街にぎわい創出事業：155件採択、商店街災害復旧事業：21件交付決定
- 仮設商店街：24件整備完了
- 被災事業者の置かれた状況は様々であり、引き続き被災者に寄り添いながら支援を推進。



輪島塗の仮設工房

2-3 観光 (9ページ)

- ・ 北陸4県での「北陸応援割」の実施等により、宿泊施設が通常通り営業可能な地域への風評被害を払拭し、旅行需要を下支え。
- 地元の意見を踏まえながら、今後の被災地の復興状況に応じ可能な限り速やかに開始できるよう、能登地域を対象とした補助率7割の手厚い「復興応援割」を検討。
- ・ 和倉温泉における旅館の再開状況は、組合加盟19施設のうち9施設が一般客の受入を再開、3施設が支援者のみ受入。

2-4 雇用・労働に対する対応 (3ページ)

- ・ 雇用調整助成金の特例措置やハローワークによる地域の雇用対策等を実施。
- 【雇用調整助成金(特例措置)の支給実績】：44.6億円(令和8年4月末時点、石川県)
- 在籍型出向を活用する事業主に対する助成金の創設や、雇用調整助成金の特例措置による休業支援を受けられる措置を講じた(雇用調整助成金の特例措置については、令和7年12月末をもって終了)。能登地域の復旧・復興に向けた雇用対策について、在籍型出向支援を基本とし、県・市・地元経済界等と一体となって取り組む。

3 公費解体 (8ページ)

- ・ 令和7年1月31日及び7月31日に改定された「公費解体加速化プラン」に沿って災害廃棄物処理を推進
- 【解体完了棟数(累計)】：42,385棟(令和7年12月末時点)
- 【災害廃棄物処理量(累計)】：約359万トン(令和8年2月末時点)



輪島朝市

- 令和7年12月末で、別管理建物※を除き全ての解体が完了。また、令和8年2月末で、当初目標より1か月早く、別管理建物を除き全ての災害廃棄物処理が完了。別管理建物については、所有者の意向に寄り添いながら、着実に解体・撤去を進める。
- ※修繕・利活用を検討している建物や、大規模建物などの解体に時間を要する建物

4 インフラ等

4-1 道路 (9ページ)

- ・ 能越自動車道等は、令和6年7月17日までに南北両方向の通行確保。令和7年内に震災前と同程度の走行性を確保。
- ・ 国道249号沿岸部(輪島市門前町～珠洲市間)は、令和6年12月27日までに全線通行確保(一部区間では、迂回路を活用、緊急車両・地元車両限定)
- ・ 令和6年内に全ての集落等※1へのアクセスを確保
- ※1 長期避難箇所に関連するところは除く
- ・ 県道以上の通行止め箇所数
- <能登半島地震> 87箇所(1月1日) → 6箇所 うち1箇所は緊急車両※2通行可
- <令和6年9月20日からの大豪雨> 48箇所(9月22日) → 2箇所
- ※2 緊急車両には地元車両を含む。



国道249号輪島市千枚田工区

- 引き続き本復旧を推進。能越自動車道等及び国道249号沿岸部(輪島市門前町～珠洲市間)は、令和11年春迄の本復旧完了を予定。令和6年能登半島地震から5ヶ年程度での本復旧完了を目指し、工程短縮を図る。

「能登半島における広域道路ネットワーク検討会」で能登の持続的な発展を支え、地方創生の礎となる道路ネットワークを構築するための基本方針を令和7年3月にとりまとめた。国道249号や県道などの能登半島沿岸部を通る道路について、滞在型観光の促進・「道の駅」の集客強化・サイクルツーリズムの活性化・魅力ある風景街道の創出などにより、国内外から人が集まる絶景海道を目指す。令和7年12月8日には、「能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針」をとりまとめた。

4-2 土砂災害・河川 (10ページ)

- ・ 国による権限代行等の制度も活用し、土砂・洪水氾濫による被害が発生した塚田川等の大雨による被災箇所も含め、令和7年出水期までに応急安全対策が完了。令和7年11月までに本格的な復旧工事等に着手。
- (河原田川(河川)の本格的な復旧(護岸)は令和8年5月末完了)
- 河川の本復旧・改良工事は令和10年度末、土砂災害の恒久対策は令和11年度末までの完了を目指す。



河原田川水系河原田川(輪島市熊野町)